別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	（法人にあっては名称） 三菱ガス化学株式会社	住所	（法人にあっては主たる事業所の所在地） 〒 100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル
本票作成	部署名：三菱ガス化学株式会社　水島工場　研究技術部		

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
事業の概要	キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。（キシレン類生産能力 630,000t）		

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市水島海岸通3-10

特定事業者の該当要件	☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上　☐ ②ﾊﾞｽ・ﾄﾗｯｸ100台、ﾀｸｼｰ250台以上　☑ ③CO_2換算3,000t以上 （●工場等の数　1　所　●車両台数（②該当の場合）　台）

温室効果ガス排出量	基準年度（平成 29 年度）	（令和 元 ）年度排出量	目標年度（令和 2 年度）
	408,139 t CO_2	438,215 t CO_2	394,670 t CO_2

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	（令和 元 ）年度排出量
	①	水島工場	438,215 t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2

削減目標の達成状況	計画期間：平成 30 年度 ～ 令和 2 年度 （ 3 箇年度）			
	☐ 総排出量基準	（ 元 ）年度削減実績	目標削減率	目標達成
	☑ 原単位基準	△ 2.2 %	3.3 %	☐ 達成　☑ 未達

（原単位基準の削減目標を選択している場合に記入）	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	（ 元 ）年度	目標年度
	製造業として事業拡大等もあり、ｺﾝﾄﾛｰﾙできる数値として生産数量を採用し、GHG排出量／生産数量＝原単位で算出しています。	0.433 t CO_2/（ t ）	0.443 t CO_2/（ t ）	0.419 t CO_2/（ t ）

（該当事業者のみ記入）

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（平成 元 年度）	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和元年度は、前年と比較して生産数量が改善じ約10%増加した事で、温室効果ガス排出量は前年度比約5%増となったが、前年度発生した設備不具合に伴う自家発電設備停止の影響（CO2排出係数が高い買電量増）が令和元年度は解消した事に加え、改善活動 及び 生産数量増加による生産効率向上が寄与し、削減目標基準としている温室効果ガス原単位は前年度比約6%改善した。一方、３箇年計画の目標原単位に関しては現状未達であり、目標達成に向けて引き続き省エネルギー活動を、確実に実施していく。

【推進体制】

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なＧＨＧ削減目標／ＲＣ目標に基づく目標設定を行い、個々のテーマについてはＴＰＭ活動における省エネルギー（個別改善）において取り組んでいます。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	主力製品のキシレン類の異性化・分離のプロセスに関しては、『省エネルギー化』のプロセスの検討しています。 工場としては、個別改善活動を通じ、装置の省エネルギー化の個別改善を継続的に進めています。令和元年度は、テーマ毎積算で約3,100ﾄﾝ-CO2/年の削減を達成しました。（蒸気の有効活用、運転最適化等） また、現在取り組んでいるテーマとして、下記項目があります。 ①蒸留塔運転最適化による蒸気使用量削減 ②プロセス差圧低減によるコンプレッサー使用電力削減 ③冷却水システム最適化によるポンプ使用電力削減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】